

第155回 仏教公開講座

年間テーマ

生きるって ということ

サブテーマ（教区テーマ）

まなこ
『眼をひらく 心こころをひらく』

真宗大谷派岐阜教区・岐阜別院

日時 2017年5月20日（土）午後6時30分～8時30分

講師 小川 一乗（おがわ いちじょう）氏

講題 「念仏成仏」

日程 午後6時30分 真宗宗歌・正信偈（同朋奉讃式）

6時45分 講義

8時15分 質問の時間

8時30分 恩徳讃・終了

講師紹介 講師（董理院董理）。1936年、北海道に生まれる。1959年、大谷大学文学部仏教学科卒業。1965年、同大学院博士課程満期退学。1982年、大谷大学教授。元大谷大学長。元真宗大谷派教学研究所長。

現在、大谷大学名誉教授。文学博士。北海道教区西照寺前住職。専門はインドとチベットの仏教。

著書 『十住毘婆沙論試探—親鸞が学んだ龍樹の仏道』、『「顕浄土真仏土文類」解釈』、『本願—念仏成仏の教え』、『「私」をあきらかにする仏教』（以上、東本願寺出版）、『インド大乘仏教における如来蔵・仏性の研究』（文栄堂）、『大乘仏教の根本思想』、『小川一乗仏教思想論集』全四巻、『親鸞と大乘仏教』（以上、法蔵館）、『親鸞が出遇った釈尊—浄土思想の正意』〈シリーズ親鸞 第二巻〉（筑摩書房）など。

メッセージ 何故、念仏するのでしょうか。世界平和を祈願するなどの現世利益の念仏、死者を弔う追善供養の念仏、様々です。親鸞聖人の念仏は「念仏成仏これ真宗」です。

「念仏成仏」とは、どういう意味でしょうか。『歎異抄』には「本願を信じ、念仏をもうさば仏になる」と語られていますが、それは親鸞聖人の「念仏成仏」のことなのでしょうか。

MEMO

次回 第156回 仏教公開講座（2016年度）ご案内

期 日 2017年6月20日（火）午後6時30分～8時30分

講 師 一楽 真（いちらく まこと）氏

講 題 「他力の教え」

講師紹介 1957(昭和32)年、石川県小松市生まれ。
1980年、大谷大学文学部真宗学科卒業。
1985年、大谷大学大学院博士後期課程満期退学(真宗学専攻)。
現在、大谷大学教授、真宗大谷派宗円寺住職。

著 書 『親鸞聖人に学ぶ一真宗入門一』（東本願寺）
『この世を生きる念仏の教え』（東本願寺）
『大無量寿経講義一尊者阿難、座より起ち一』（文栄堂）
『四十八願概説一法蔵菩薩の願いに聞く一』（文栄堂）
『シリーズ親鸞第5巻 親鸞の教化』（筑摩書房）
『蓮如 日本人のこころの言葉』（創元社）、など。

メッセージ

「他力」と聞くと、人任せにして、自分では何にもしないことのように受けとめられがちです。また「自力を捨てよ」と言うと、努力を放棄してしまうことだと考える人もいます。親鸞聖人が掲げた浄土真宗において、他力は大事な教えであるにもかかわらず、誤解されやすい言葉です。宗祖が他力にどのような願いを込めておられるのか。ご一緒に尋ねたいと思います。